



熊本再春荘病院医療連携室だより

再春

KUMAMOTO SAISHUNSO NATIONAL HOSPITAL

熊本再春荘病院ホームページ <http://www.k-saisyunsou.jp/>



平成30年 第2号

発行所：熊本県合志市須屋2659番地

熊本再春荘病院

編集：医療連携室



今回も当院入院中のI様から素敵なCGを戴きました。I様、どうも有り難うございました。
秋の七草である桔梗の花の上に舞う1匹の蝶が涼しげに描かれています。

病院の理念

わたしたちは
患者さまひとりひとりの人権を尊重し
思いやりの心を持って
安心と信頼の医療を
提供します

病院運営の基本方針

1. 患者さま中心の医療
2. 専門知識及び技術の向上
3. チーム医療の推進
4. 地域医療連携の推進と地域への貢献
5. 経営基盤の安定

Contents

- | | |
|----------------------------------|------|
| 1. 院長あいさつ | 2 |
| 2. 新病院建替進捗（2期工事） | 3 |
| 3. 診療科紹介【代謝内科】 | 4 |
| 4. 開放型病院登録医紹介【平山内科クリニック】 | 4 |
| 5. 診療科紹介【リウマチ科】 | 5 |
| 6. 開放型病院登録医紹介【岩倉整形外科・内科医院】 | 5 |
| 7. 病院機能評価受審 | 6 |
| 8. 医療連携の集い報告 | 7 |
| 9. 看護フェスタ 再春報告 | 8 |
| 10. 新任スタッフ紹介 | 9～15 |
| 11. 再春荘カンファレンス予定表 | 16 |

新年度のご挨拶

病院長 米村 憲輔

新年度が始まりました。昨年末から全国的に大雪などの異常気象に見舞われたにもかかわらず、時期が来れば桜は立派に咲き誇り、新緑の眩しい季節もちゃんと回ってくるものと妙に感心しております。平素より皆様方には医療連携に多大なご協力、ご支援をいただきまして厚く御礼申し上げます。本年度も引き続きよろしく御願い申し上げます。

今年も3月末に退職や異動で多くの職員を送り出し、変わって新入職者を含め66人の新職員を迎えました。4月2日の辞令交付に続き、4日には新職員を囲み多くの職員参加による歓迎会が盛大に開かれました。当初緊張していた新人も、和気藹々の雰囲気の中で徐々に打ち解けていき、自己紹介などで賑やかに盛り上がって閉会となりました。新職員の皆さんには一日も早く職場環境に溶け込んで、病院に新たな風を吹き込んでもらいたいと期待しています。

さて以前よりお伝えしている新病院建設は、予定どおり順調に進んでおります。現在第2期工事中であり、新外来治療棟

および新病棟が約1年後には完成の予定です。その後、現東西病棟の管理棟へのリニューアル、駐車場整備、外構整備と工事は続きますが、新棟による診療は来年度には開始できる予定です。診療機能の一層の充実を期待いただきたいのと同時に、工事期間中の周辺道路の往来や敷地内の交通制限等に関し、ご理解、ご協力をお願い致します。

新年度になり診療報酬が改定されました。全体の改定率はマイナスでしたが、本体部分はプラスという結果でした。そして今回もこれまでと同様に、地域包括ケアシステムの構築を目指す政策に沿ったものとなっています。いわゆる地域完結型医療の推進であり、個人個人の状態に最も適した医療・介護の提供体制の整備が求められています。当院にもその拠点の一つとして、地域の医療、介護および保健福祉関連施設との緊密な連携をさらに推進していく役割が求められています。皆様には今後ともご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

病院建替え工事（2期工事）について

企画課長 橋本 和明

昨年、新サービス棟（Ⅰ期工事）が完成し、現在は外来治療棟及び病棟の新築工事（Ⅱ期工事）が行われておりますので、現状などについてお知らせいたします。

昨年の新サービス棟の完成・機能移転及び稼働開始後に、これまで使用していた旧サービス棟を解体撤去の上整地し、今年に入り新しい本館である外来治療棟及び病棟の新築工事へと進んでいます。

12月の新棟の杭打ち工事から始まり、その後の基礎工事に入り既に5ヶ月が経過しました。基礎工事は8階建ての建物を支える非常に大事な工事であり、この部分は鉄筋コンクリート造の頑丈な造りとなっています。また、地下部分には機械設備や電気設備などの配管も同時に施工されていく関係上、思いのほか時間のかかる作業になっています。

工事は仮囲いの中で行われているため、外観からはあまり工事が進んでいないような印象ではありますが、現在のところ計画通りに進捗しております。

新しい本館は鉄骨造で、今後、6月から8月中旬にかけて鉄骨を建てていく工事が進んでいきます

が、約2ヶ月の間に8階建て部分までの鉄骨が一気に立ち上がってきますので、建物が空に向かって伸びていく光景を目の当たりにしますと、いよいよ新棟が建って行っていると職員一同実感が湧いてくるものと思います。

今後は、建物骨組みの完成後に建物壁が施工され、今年中には建物外観が出来上がる予定となっています。また、建物内部の工事が完了するのは、約1年後である来年の5月頃を予定しております。

建物完成後は、消防等の様々な法定検査を経た後、新棟への機器移設、患者さまの移動等新棟オープンに向けての様々な作業を、順を追って安全確実に行っていくこととなりますが、そのための移転計画をこれから綿密に立てていくこととなります。

新棟の完成まで残り約1年となり、新しい建物ができる期待とこれからやらなければならない作業や仕事に対し様々な不安もありますが、完成後はよりいっそう地域医療に貢献できる機能的な病院となるよう、新棟の完成及びオープンに向けて職員一同努力する所存です。



診療科紹介 No.9

代謝内科のご案内

代謝内科医長
猪島 俊朗

当院代謝内科は、糖尿病を中心に、脂質異常症、高尿酸血症などの慢性疾患や内分泌疾患（甲状腺疾患、副腎疾患等）の治療を行っております。

糖尿病に対しては、外来にて血液検査や合併症精査、栄養指導を行い、患者様の状態に合わせた治療を進めております。また必要な場合は糖尿病検査教育入院（約2週間前後）も致しております。入院中は糖尿病の病態や合併症評価、経口薬やインスリンによる治療を行うとともに、医師、看護師、栄養士、検査技師、理学療法士等各スタッフによる糖尿病教室を毎日開催し、糖尿病に対する知識を深めて頂く取り組みも行っております。

【入院時検査内容】

- ① 糖尿病の病態評価：血糖日内変動、抗 GAD 抗体、尿中血中 CPR、内分泌系精査
- ② 合併症の評価：腎機能評価（24hCcr、eGFR、尿蛋白定量など）
眼底簡易検査、心電図 R-R 間隔変動率測定
- ③ その他の合併症評価：心電図、心エコー、頸部血管エコー、ABI
腹部エコー、CT、上下部消化管内視鏡（必要時）等

を行い全身状態の把握に努めます。

糖尿病性腎症の進行が懸念される患者様については、透析予防外来（毎週火曜日）にて個別に医師による診察指導及び栄養士、看護師による指導も行っております。

内分泌疾患についても、ホルモン検査、甲状腺エコー、腹部 CT、シンチグラム等を行い精査を行い、大学病院とも適宜連携しながら治療を行っております。

本年度から当科は2名体制となりました。今後さらに地域の糖尿病診療に貢献して参りたいと考えております。

糖尿病を指摘された患者様や、治療の見直しが必要と思われる患者様がいらっしゃいましたら、ぜひご紹介頂ければ幸甚に存じます。今後とも、宜しくお願い申し上げます。

開放型病院登録医紹介

平山内科クリニック

院長／平山 正剛

合志市御代志468-1

TEL 096-273-6104 FAX 096-273-6107

診療内容／内科、呼吸器内科、アレルギー科、緩和ケア内科、小児科

診療時間／ 8:30～12:15

14:30～17:45 ※13:30～14:30は往診、訪問診療

診 察 日	月	火	水	木	金	土	日
8時30分～12時15分	○	○	○	○	○	○	×
14時30分～17時45分	○	○	×	○	○	×	×

平山内科クリニック 平山院長先生には、平成26年4月より当院開放型病院登録医として、多くの患者さまをご紹介いただいております。

合志市御代志に開業され、総合内科、呼吸器、アレルギーの専門医として、診療や研究に精力的に取り組まれています。また、往診や訪問診療など患者さんに寄り添った医療にも貢献されています。



診療科紹介 No.10

リウマチ科のご案内

リウマチ科部長
森 俊輔

熊本再春荘病院リウマチ科は2001年4月に開設されました。赴任当時は、関節リウマチ(RA)患者は4人でしたが、現在では、約500人に増えています。RA診療は、この20年で大きな進化をとげました。その要点を紹介します。

- 1) 診断：**疾患特異性が高い抗CCP抗体の発見は、RA早期診断に大きな貢献をしました。抗CCP抗体に重きをおいた2010年ACR/EULARによるRA診断基準は、ひとつの関節症状出現からRA早期診断が可能となりました。
- 2) 治療戦略の変化：**メトトレキサート(MTX)をRA発症早期から用いることで多くのRA患者の症状のみならず関節破壊も抑制できるようになりました。
- 3) 標的治療薬の登場：**RAの免疫異常を標的とした薬剤の開発は、MTX抵抗性RA患者に大きな恩恵を与えました。
- 4) 免疫抑制薬治療マネージメント法の進化：**RA薬物治療には、特徴的有害事象が伴います。そのマネージメント法の情報は、広く認知されるようになり高齢者でも安全にRA治療を行うことが可能になりました。

当科では、最新の診療を積極的に導入し、その観察結果を世界に発信する臨床研究を行うことを目標にしてきました。ACR/EULARの2015年リウマチ性多発筋痛症マネージメントガイドライン作成に日本代表として参加できたことは、ひとつの貢献と考えています。

開放型病院登録医紹介

岩倉整形外科・内科医院

院長／岩倉 雄一郎

菊池郡大津町室532-1

TEL 096-293-8888 FAX 096-293-0982

診療内容／整形外科、内科、リウマチ科、リハビリテーション科、
形成外科、麻酔科

診療時間／ 8:30～12:30

14:00～18:00

診 察 日	月	火	水	木	金	土	日
8時30分～12時30分	○	○	○	○	○	○	×
14時00分～18時00分	○	○	○	×	○	×	×

岩倉整形外科・内科医院 岩倉院長先生には、平成23年8月より当院開放型病院登録医として、多くの患者さまをご紹介いただいております。

大津町に開業され、整形外科を主体として地域の多くの患者さまの診療をされておりますが、平成29年4月からは膠原病専門の内科医も常駐し、リウマチなどの治療にも力を入れられております。



病院機能評価訪問審査を終えて

副院長 上山 秀嗣

平成 30 年 3 月 15、16 日の 2 日間にわたり、公益財団法人日本医療機能評価機構が実施する病院機能評価の訪問審査を無事終了しました。当院は平成 20 年 1 月 22～24 日に第 1 回目（第 2 世代 Ver. 5）、平成 25 年 1 月 29～31 日に第 2 回目（第 2 世代 Ver. 6）を受審し無事合格しており、今回が第 3 回目の受審となりました。当院が受審したバージョンは第 3 世代 Ver. 1.1 であり、評価対象領域は以下の 4 領域より構成されています。

第 1 領域：患者中心の医療の推進

第 2 領域：良質な医療の実践 1

第 3 領域：良質な医療の実践 2

第 4 領域：理念達成に向けた組織運営

今回から審査日数が 3 日から 2 日となり、評価項目も大項目、中項目の 2 階層と簡素化され、全中項目数は 89 項目と前回より少なくなっていました。各項目は S（秀でている）、A（適切に行われている）、B（一定の水準に達している）、C（一定の水準に達していない）の 4 段階で評価されますが、C 評価が 1 個でもあると認定されません。また、当院は一般病院 2、区分 4 での受審でしたので、サーベイヤー 6 名による訪問審査が行われました。

平成 29 年 1 月から本格的な受審の準備を開始し、同年 4 月には全体集会を開催し全職員への周知を促しました。その後、プロジェクトチーム責任者・班長会議を 2 週間おきに、プロジェクトチーム全体会

議を毎月開催するとともに、領域別に分かれて各種規程・マニュアル・同意書の改訂、カルテ監査、環境ラウンド、会議や委員会議事録の整備、病院ホームページの見直しなどを行いました。平成 29 年 12 月末に現況調査表を提出し、平成 30 年 1 月末には自己評価調査表を提出、同年 2 月 8、9 日に模擬審査を受審し、同年 2 月 23、26 日に全職員対象の総決起集会を開催し、当日の受審に備えました。

今回のメイン・イベントである「ケアプロセス調査」は、各病棟の典型的な 1 症例について外来初診時から入院決定、検査、手術、輸血や抑制などへの対応、退院調整といった一連のチーム医療の流れを一問一答形式でチェックされるものです。我々は昨年 12 月から院内でシミュレーションを繰り返しながら医師、看護師、コメディカル・スタッフが一丸となって協力し準備を進めました。対象症例が訪問審査直前まで決まらずに冷や冷やしましたが、想定問答集の作成や 2 台の電子カルテ操作の習熟を始め、病棟スタッフは本当に良くがんばってくれました。

訪問審査当日はスタッフ全員が真摯にきばきとサーベイヤーの質問に回答してくれたせいか、最後の講評では多数のお褒めの言葉を頂きまして、大変満足度の高い審査となりました。同時に的確な鋭いご指摘も頂きましたので、早速改善すべき点は修正していく所存です。審査結果は 6 月末に報告される予定ですので、どのような評価になるのか楽しみに待ちたいと思っています。



ケアプロセス調査



病棟の訪問審査

第10回『医療連携の集い』

副院長 上山 秀嗣

平成 30 年 6 月 2 日 (土)、ホテル日航熊本において第 10 回『医療連携の集い』を開催しました。梅雨入りしたばかりで天気が心配されましたが、お陰様で晴天の中執り行う事ができました。院内外含め 197 名の参加があり、盛況のうちに終了することが出来ましたことを御礼申し上げます。

開放型病院運営連絡協議会、地域医療支援病院諮問委員会に引き続いて、5 階阿蘇の間において講演会を行いました。最初に副院長より「診療支援部からのお知らせ」を約 10 分間行いましたが、昨年に引き続き新病院建て替え事業、および地域包括ケア病棟の運用状況についても報告しました。特別講演としましては当院小児科医長の島津智之医師により「小児在宅医療の現状と課題」というテーマで、重症心身障がい児の在宅医療について、わかりやすく、熱のこもった講演をしてもらいました。講演の座長は当院小児科部長の今村 穂積医師が務めました。その後隣室に移動して行われた意見交換会では、当院米村院長の挨拶に引き続いて、菊池郡市医師会長の岩倉 雄一郎先生による挨拶と乾杯のご発声の後に懇親会を行いました。岩倉先生におかれましては第 1 回目から本会にて祝辞を述べて頂いていましたが、今回会長職の勇退に伴い最後のご挨拶という事で、当院への期待を込めた大変素晴らしいご祝辞を頂きました。会の半ばには大原診療支援部長による診療科医師紹介が行われ、最後は前田臨床研究部長の閉会の挨拶と一丁締めで幕を閉じましたが、多数の皆様方と懇親を深めることができましたことを御礼申し上げます。

当院は今後も地域医療支援病院としての役割を果たすべく、菊池医療圏をはじめとする近隣医療機関の皆様方との医療連携を深めて参りたいと思いますので、ご指導をよろしくお願い申し上げます。

尚、来年は第 11 回目の『医療連携の集い』を、同じくホテル日航熊本にて開催予定ですので、多数の皆様方のご出席をお待ちしています。



講演会



島津医長による講演

看護フェスタ 再春

つくし2病棟看護師長 石橋 美枝子

5月12日は「看護の日」です。この日にちなんで、今年も5月11日金曜日13:00～16:00 ユーパレス弁天の1階ロビーをお借りして、「看護フェスタ 再春」を開催致しました。実演コーナー（AED、転倒予防体操、手洗い）、計測コーナー（血圧測定、酸素飽和度測定、血糖測定）、今年新たに認定看護師コーナー（緩和ケア認定看護師、糖尿病看護認定看護師、摂食・嚥下障害看護認定看護師）も設け、看護師22名が参加しました。来訪者は96名で「いつも来てくれて嬉しい」と毎年来ていただいている方や「初めてだったがよかった」等のご意見をいただきました。

また、認定看護師コーナーでは、1人1人にお話を伺い、日頃不安に思っていることや計測した数値と生活習慣を照らし合わせながら個別対応を行い、今後の生活に気をつけたいというご意見も聞かれ、どのコーナーもそれぞれに、よい評価を得ることができました。

参加した看護師は、最初は緊張していましたが次第に地域の方々と溶け込み、楽しく活動することが出来ました。次年度も、看護について多くの方々に理解を深めていただけるようにしていきたいと考えています。



転倒予防体操のご案内

摂食嚥下認定看護師コーナー



実演コーナーでAEDの説明中



フローレンス・ナイチンゲール

看護の日とは、1990年に5月12日（フローレンス・ナイチンゲールの誕生日）を「看護の日」と制定。看護の心を広く伝えるために、『看護の祭典』として、全国で催しが行われています。

採用・異動職員からのごあいさつ

■ 医師 (採用)

統括診療部 代謝内科医長 猪島 俊朗 (採用)

本年4月より代謝内科に赴任致しました猪島俊朗と申します。宮崎市出身で熊本大学代謝内科に入局後、熊本大学病院、済生会熊本病院、荒尾市民病院、国立病院機構宮崎病院、熊本総合病院(八代市)にて勤務しておりました。先生方やスタッフの方々に温かく迎えて頂き、非常に働きやすい環境で仕事をさせて頂いております。本年度から代謝内科も2名体制となり、地域の糖尿病診療、病診連携に更に貢献できるよう、微力ながら精進して参りたいと思っております。素晴らしい環境の下、診療とともに自分の健康管理のためのジョギングも頑張っております。今後とも皆様のご鞭撻を頂きます様、宜しくお願い致します。

統括診療部 整形外科医師 橋本 憲蔵 (採用)

はじめまして。整形外科9年目の橋本憲蔵と申します。今までは県南の病院で働くことが多く、今回初めて県北の病院に勤務することとなりました。当院での整形外科の仕事として、手術では外傷を中心に幅広く、外来では地域の先生と連携しながら仕事をしていきたいと考えています。近隣の診療所・病院をいち早く把握し、県北の医療ネットワークに少しでも力になればと存じます。一生懸命頑張りたいと思いますので、よろしくお願いします。

統括診療部 整形外科医師 中西 浩一朗 (採用)

4月から熊本再春荘病院に赴任致しました中西 浩一朗と申します。平成26年に熊本大学医学部を卒業し、熊本労災病院での初期研修を経て平成28年に熊本大学整形外科へ入局、熊本大学病院、済生会熊本病院にて勤務して参りました。医師としても5年目で分からないことも多く、まだまだ上級医の指導を仰ぎながらの診療ではありますが、城北の医療に貢献できるよう努力する所存です。ご指導・ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

統括診療部 整形外科医師 吉村 直人 (採用)

整形外科の吉村直人と申します。昨年まで国立病院機構熊本医療センターで勤務しており、本年4月より熊本再春荘病院に異動となりました。当院に来て2ヵ月経過し、徐々に新しい環境にも慣れて参りました。整形外科医としてはまだまだ未熟ですが、自分にできることを一つずつ増やしていこうと思っています。ご迷惑をおかけすることも多々あると思いますが、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

統括診療部 神経内科医師 永利 知佳子 (採用)

4月より神経内科に勤務しております、永利知佳子と申します。卒後6年目であり、昨年度までは熊本大学病院で勤務しておりました。当院は先生方やスタッフの皆さんがとても優しく、おかげさまで充実した日々を過ごすことができております。温かい雰囲気のあるこの病院で働くことができて、うれしく思っています。まだまだ未熟ではございますが、患者さんや皆さんのお役にたてるよう、頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願い申し上げます。

統括診療部 呼吸器内科医師 垣内 洋祐 (採用)

はじめまして、今年度より熊本再春荘病院でお世話になります、呼吸器内科の垣内洋祐と申します。医師5年目です。入局してから初めての大学外勤務であり、不安もありますが、先生方をはじめスタッフの皆さんもとてもやさしく、大変働きやすい職場で日々充実した生活を送っております。若さを生かしてフットワークを軽く動き、少しずつ知識を身につけていきたいと思っております。ご迷惑をおかけすることもあると思いますが、よろしくお願いします。

統括診療部 小児科医師 堀 愛莉花 (採用)

今年度から小児科でお世話になります、堀えりかと申します。名前が読みにくいと思うのですが、覚えていただくと嬉しいです。熊本赤十字病院での2年間の初期臨床研修を修了し、小児科医になってこちらへ赴任して1ヵ月が経ちましたが、大変働きやすい環境だなと日々感じています。知識・技術が未熟なことに加え体力面でもご迷惑を多々おかけしてしまっていますが、自分にできることをコツコツと頑張っていきたいです。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

■ 医師 (異動)

統括診療部 神経内科医長 西田 泰斗 (異動)

4月から勤務させていただくこととなりました西田泰斗と申します。昨年度までは同じ国立病院機構の熊本南病院に勤務いたしておりました。卒業以降、国立病院機構の病院に計14年勤務いたしておりますが、以前は療養所であった機構病院では、神経筋難病の患者様を多く診察させていただきました。神経筋疾患は慢性・進行性の病気が多く、いわゆる「治癒」に至ることが困難な疾患群ですが、この度、熊本再春荘病院にほぼ3年ぶりに戻ってまいりましたが、前回の勤務時に診察させていただいた患者様と再びお会いする機会も多く、支えになる医療が出来ればと心を新たにいたしました。これからも県北地区の神経筋難病医療に貢献できればと考えております。よろしくお願い申し上げます。

統括診療部 神経内科医長
田北 智裕 (異動)

神経内科田北智裕と申します。

当院では以前2年間働いていた経験があり、その後14年間の熊本医療センター勤務を経て、また戻って参りました。当時と建物も含め全体の雰囲気はあまり変化していないような印象ですが、神経内科スタッフや病院のシステムなど以前と比べるとかなり充実しており、他職種のどの方も協力的で、とても働きやすい環境であることを実感しています。まだ慣れない部分も多いですが、早く貢献できるよう頑張っていきたいと思っています。

■ コメディカル (採用)

薬剤部 薬剤師
甲斐 久彬 (採用)

今年から、薬剤部に配属されました甲斐久彬です。宮崎県出身でランニングや登山等が趣味です。病院実習の際に、医師・看護師からの情報、検査データからの化学療法施行の判断、投与量設計、副作用回避に対する処方提案等を行っている薬剤師の姿を見てやりがいを感じました。私も信頼されて任せられるように日々の業務に一生懸命取り組んでいきたいと思っています。当院のスタッフの皆様が親切に接して頂けることがとても有難く感じています。何卒宜しくお願いします。

リハビリテーション科 理学療法士
扇 崇史 (採用)

本年度から新規採用となりました。理学療法士の扇崇史と申します。

出身は福岡県です。日々色々な問題に直面しておりますが、リハビリテーション科の先輩方のアドバイスに日々助けられています。これからも精一杯理学療法を実施していきます。よろしくお願いします。

リハビリテーション科 作業療法士
川原 徹朗 (採用)

私はリハビリテーション科作業療法士の川原徹朗と申します。ここ熊本再春荘病院にきて、広い病院だな～と思っていたところ、リニューアルして綺麗になると聞いて楽しみです。作業療法士は、ADLという食事や更衣など生活に密接な動作を特に専門としたセラピストです。生活を送っていくための動作をリハしていくため、患者様の能力の把握が不可欠です。先輩方の優しい御指導の下、知識と技術を学んでいきたいと思っています。今後ともよろしくお願いします。

臨床検査科 臨床検査技師
藤井 優紀奈 (採用)

この度、熊本再春荘病院で臨床検査技師として働く事になりました藤井優紀奈と申します。

今年の春に大学を卒業したばかりで、右も左も分からなかったのですが、周りの方々からたくさんの事を学ばせて頂きながら、日々業務に励んでおります。

これから一日でも早く患者様の診療に貢献できるような検査技師となれるよう努力していきたいと思っていますので、宜しくお願い致します。

■ コメディカル (異動)

薬剤部 薬剤部長
清水 裕彰 (異動)

国立療養所沖縄愛楽園より赴任して参りました、薬剤部長の清水です。

熊本県で勤務するのは約20年ぶり2回目です。久しぶりの熊本は、新たな建物が多く建てられ、その変化に驚くばかりです。沖縄に2年間勤務しておりましたので、環境の変化(気温と花粉)に対応できるかが心配でしたが今のところ何とか無事に過ごせています。

今後は、2年ぶりの機構病院の体制を思い出しつつ、施設に対して少しでも貢献できるように頑張りたいと思いますので、よろしくお願い致します。

薬剤部 薬務主任
西本 辰徳 (異動)

4月1日付で熊本南病院より薬務主任として着任しました西本です。

以前より熊本再春荘病院での勤務を希望していましたので、ここで勤務出来ることを大変嬉しく思っています。しかし、前任地では、電子カルテはなく、紙カルテを用いていたので、日々同僚にカルテの見方を習う日々です。

まだまだ慣れませんが、今後は患者様の適正な薬物治療の一助となれるよう、微力ではありますが精一杯頑張りたいと思います。宜しくお願いします。

臨床検査科 臨床検査技師長
園田 敏雅 (異動)

佐賀病院から転任してまいりました検査科技師長の園田敏雅です。今回の異動で当院の勤務は、9年ぶり3回目になります。

現在の検査科は外科部長の大原医師を科長とし検査技師15名、うち女性技師が11名を占める女性技師を中心とした活気あふれる職場です。また、病院の新築工事も進んでおり大変楽しみにしております。引き続き検査科へのご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

臨床検査科 血液主任
久野 稔之 (異動)

正門横の、気の早いソメイヨシノが舞い散り、追いかけるように八重桜が咲き誇る当院に過日着任しました。前任施設は菊池病院です。

これまで賃金職員を含めると、7施設の国立病院で仕事をさせていただいてまいりました。当院が8施設目となり、年齢からして最後の赴任施設になるかと思われます。一口に国立病院と言いましても、その規模や政策医療を含めた診療内容、立地条件など、そこそこで意義深いものを感じて仕事をさせていただいて参りました。微力ではございますが、これまで培ってきた経験と知識をもとに当院、及び患者様各位に貢献させていただければ幸いです。

臨床検査科 医化学主任
小田澤 由貴 (異動)

宮崎東病院より参りました、検査科の小田澤と申します。久しぶりに地元の熊本に戻ってこれることができ、嬉しく思います。以前は九州がんセンターで病理検査を担当しておりました。現在も、福岡に遊びに行くと美味しいものを食べたりすることが好きです。人見知りがありますが、他職種の方とも今後交流していけたらと思います。よろしくお願いします。

放射線科 照射主任
森山 浩二 (異動)

大分県の別府医療センターからまいりました放射線科の森山です。

今回が初めての異動で、出身も大分なため大学以来の久しぶりの他県での生活となります。病院も広くようやく各病棟の位置や病院近辺の道を覚えたところです。まだまだ慣れない所もあり、皆様にはご迷惑をおかけすることもあるかとは思いますが、精一杯頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願いします。

放射線科 RI検査主任
野根 浩司 (異動)

この度、福岡東医療センターより赴任してまいりました野根浩司です。出身は石川県加賀市です。野根という苗字は石川県で多いわけでもなく、日本全国どこへ行っても珍しい名前となっています。熊本県での勤務は初めてで、ツーリングの聖地『阿蘇』、釣りの聖地『天草』など、熊本の自然を満喫したいと思っています。

一日でも早く熊本再春荘病院のお役に立てるよう、精一杯頑張りたいと思います。よろしくお願いします。

栄養管理室 主任栄養士
須加原 結乃 (異動)

福岡東医療センターから赴任して参りました。以前、お隣の恵楓園に勤務していたので、とても親近感のある病院です。こちらに配属されて嬉しく思っています。

毎日菊電で通勤しているのですが、可愛いくまものラッピング電車にかわってびっくりです。内装までくまもので、熊本らしさを感じています。

ご入院中の皆様に喜んでいただけるお食事を提供できるよう頑張りたいと思います。これからどうぞよろしくお願い致します。

リハビリテーション科 理学療法士
久保田 啓太 (異動)

はじめまして！私はリハビリテーション科・理学療法士の久保田啓太です。大分県の別府市にある別府医療センターから赴任してきました。熊本は地元であり、その地で仕事ができる事を大変嬉しく思っています。

理学療法とは患者様の基本的動作能力（立つ、歩くなど・・・）の向上を図り、在宅復帰に繋げる仕事です。同時に他部門のスタッフの方との協力が不可欠な仕事だとも思っています。ぜひ仲良くして頂けると幸いです。

一生懸命頑張ります。どうぞよろしくお願いします。

リハビリテーション科 作業療法士
西村 仁志 (異動)

はじめまして、作業療法士の西村と申します。2年間東佐賀病院で勤務させて頂き、今回の異動で熊本再春荘病院に戻ることができました。熊本再春荘病院はとてもスタッフの方々が温かく、楽しく仕事ができる場所であり、学ぶことも多くあったので、今回また皆様と働けることができ嬉しい限りです。今後ともよろしくお願い致します。

■ 看護部 (採用)

東1病棟 看護師
河野 結衣 (採用)

熊本保健科学大学を卒業し、4月より東1病棟に配属されました河野結衣です。私は大学の頃から小児科で働きたいという思いがあり、昨年のインターンシップで東1病棟を見学させていただきました。その際、病棟の雰囲気や患児・家族・看護師間の信頼関係にとても魅力を感じ、当院の小児科で働きたいという思いで入職を決意しました。今後は、日々の業務を確実にこなし、患者様に寄り添った看護が行えるよう日々精進していきたいと思っています。

東1病棟 看護師
大峯 彩歌 (採用)

都城医療センター附属看護学校を卒業し、東1病棟に配属になりました大峯彩歌です。子どもが好きで、小児科で働くのが夢でした。インターンシップに参加した時から、当院の明るい雰囲気に惹かれていました。実際に働いてみて、覚えることが多く、ついていくのに必死ですが、先輩方から学んだことをどんどん吸収して一人前になれるように精進します。正しい知識・技術を身に付け、笑顔を絶やさず、患者様やそのご家族に信頼されるような看護師を目指します。

西2病棟 看護師
末松 唯 (採用)

今年度より西2病棟に配属になりました、看護師1年目の末松 唯と申します。

最初の印象としては、忙しい中どの職員の方も沢山のことを教えて下さり、優しい雰囲気できやすい職場だと感じました。働き始めて約1ヶ月、職員の方々に仕事を教えて頂きながら少しずつ職場にも慣れてきたところです。

まだ分からないことが多くご迷惑をおかけしますが、少しでも早く仕事を覚えて戦力になれるように頑張りたいと思いますので、宜しくお願い致します。

西2病棟 看護師
今村 胡桃 (採用)

今年度から西2病棟に配属になりました。新人看護師の今村胡桃です。

病院の印象は、病棟の看護師の雰囲気がよく、コミュニケーションをとっているという印象でした。病棟に配属になってからも、病棟の先輩看護師の方々は優しく丁寧に指導して下さいます。

まだまだ未熟ですが、アセスメントをして根拠を持ち、患者に寄り添った看護ができるように頑張っていきたいです。そしてできるだけ早く戦力になれるように頑張りたいと思います。よろしくお願いします。

西2病棟 看護師
柳川 千春 (採用)

4月から西2病棟で勤務しています。

柳川千春です。私は当院の看護理念に共感し、患者様の心に寄り添える看護を行いたいと思い来ました。当院の印象は、優しさに包まれたような印象です。就職して1ヶ月が経ち、病棟の先輩方にご指導いただきながら頑張っていますが、皆さん優しくとても働きやすいと毎日感じています。周手術期の患者・家族の心身を支えられるよう、また皆さんの役に立てよう頑張りたいと思います。ご迷惑お掛けすること多いと思いますが、誠意一杯頑張りますのでよろしくお願い致します。

西2病棟 看護師
大倉野 美里 (採用)

西2病棟で勤務させていただいています。大倉野美里です。当院は温かい雰囲気患者さん一人ひとりと向き合い、看護部の理念である「より良く生きることを支える看護」を提供している印象です。私の勤務する西2病棟は周手術期の病棟です。毎日が複雑な状況ですが、患者さんが元気になって退院・転院できるように支えていきたいです。先輩方からも忙しい中ではありますが丁寧に指導いただいています。一つ一つのことをしっかり学習し、多くの知識や技術を学んでいきたいです。

西3病棟 看護師
西隈 千佳 (採用)

本年度より西3病棟へ配属になりました、新人看護師の西隈千佳です。当院に入職し、看護師同士、又はその他の職種の方々との連携が患者様の安全・安心・安楽を保持した入院生活へと繋がるということを改めて実感しました。患者様が入院生活を自分らしく送ることができるよう、一つ一つを経験として身に付け、確実な知識・技術の習得の為に日々精進していきます。未熟な点もございますが、今後ともよろしくお願い致します。

西3病棟 看護師
石川 果奈 (採用)

私はこの度、西3病棟に配属になりました。西3病棟は、神経・筋難病の患者様がおられ、初めは目の動きや表情の変化から患者様の訴えを読み取る事ができず、コミュニケーションに悩むことがありました。しかし、日々患者様と関わり、先輩方からの助言を頂き、少しずつですが患者様の訴えに気づけるようになり、喜びへと変わっていきました。これから、患者様がその人らしい生活が送れるようにチームで協働しあい、日々スキルアップできるように精進していきたいです。

西3病棟 看護師
松尾 清絵 (採用)

はじめまして西3病棟の松尾清絵です。福岡の看護学校出身です。私が西3病棟(神経・筋難病)病棟を希望した理由は、学生の時、実習で受け持った患者様が難病であり、日々衰えてくる身体に気持ちがついていけない状態でした。そんななか、寄り添うことができず悔しい思いをしたからです。実際に働きだし、まだまだ分からないこともたくさんあり、不安なこともあります。患者様が笑顔になれるよう寄り添い、一番の理解者になれるように頑張りたいと思います。

東3病棟 看護師
永田 栞 (採用)

今年度より東3病棟で働くことになりました、永田です。東3病棟は循環器内科・代謝内科、呼吸器や脳神経、整形などさまざまな疾患の患者様が入院してきます。そのため大変ではありますがとても勉強になっています。毎日たくさんの患者様と接しながら笑顔をもらい、また一緒に働く先輩方も優しく教えてくださるため、充実した日々を送ることができています。今後は自分が患者様のためになれるよう、よりいっそう精進していきたいと思っています。

東3病棟 看護師
境 優 (採用)

今年度より東3病棟に配属になりました。境優です。出身は大分県です。熊本再春荘病院の印象は、スタッフの皆さんが優しく、雰囲気がいいという印象でした。実習できた際も、患者さんに丁寧に対応し、ひとりひとりにあった看護を考えている姿を見て、こんなところで働きたいなと思っていました。そんな病院のスタッフの一員になれたので、一生懸命勉強し、いち早く病院の力になれるよう頑張ります。よろしくお願いします。

東4病棟 看護師
島田 真愛 (採用)

東4病棟に配属になりました、島田真愛です。入職当時はとても緊張していましたが、先輩看護師や職員の方々の挨拶の声に安心しました。病棟でも先輩方は分からないことを丁寧に指導してくださり、看護の技術や知識を一つ一つ学習でき、確実に身につけることができています。患者様が退院時に「ここに入院してよかった。」と言っていた場面に出会い、提供されている看護の質の高さを実感しました。まだまだ半人前ですが、患者さまに寄り添った看護を提供できるように日々精進していきたいと思っています。

東4病棟 看護師
源 万里絵 (採用)

本年度、東4病棟に配属して頂きました源万里絵です。3月に玉名女子高等学校看護専攻科を卒業し、夢だった看護師になることができ今は嬉しさと不安と緊張で一杯です。インターンシップの際、看護師さん方の笑顔や丁寧な看護がとても印象に残り憧れていました。患者様に優しく寄り添い思いやりの心を持って関わることでできるかっこいい看護師になれるよう、これからコツコツ日々頑張りたいと思っています。宜しくお願い致します。

西4病棟 看護師
有瀬 萌美 (採用)

西4病棟に配属になりました。新人看護師の有瀬萌美です。出身校は九州中央リハビリテーション学院で実習でもお世話になっていました。実習、インターンシップを通してとても丁寧にご指導いただき、また、教育体制も整っていることから熊本再春荘病院でもっと勉強したい、チームの一員として働きたいと思っていました。4月からその夢が叶ったのでこれからは熊本再春荘病院の組織の一員としての自覚を持ち、日々の勉強を積み重ねていきながら頑張りたいと思います。よろしくお願い致します。

西4病棟 看護師
濱 美礼 (採用)

新人看護師の濱美礼です。配属は西4病棟です。これからよろしくお願い致します。

出身校は熊本医療センター附属看護学校です。熊本再春荘病院の温かい雰囲気の中で看護を学びながら働くことができ、毎日充実しています。春から1人暮らしも始めていろいろと慣れないことばかりで大変だとは思いますが、たくさんの方に指導を頂きながら、先輩方のような看護師に1日でも早くなれるように頑張りたいと思っています。

南1病棟 看護師
吉田 リナ (採用)

初めまして。この度、南1病棟に配属となりました、吉田と申します。趣味・特技はピアノです。今後の目標として、専門的で安全な看護技術を養い、患者さまお1人お1人の生活の質の向上に貢献したいと考えております。また、ご家族を視野に入れた、温かい看護の実施に努めてまいりたいと思っています。

まだまだ未熟ではございますが、笑顔で頑張りますので、どうぞよろしくお願い致します。

南1病棟 看護師
石本 梨香 (採用)

4月より南1病棟に配属になりました。石本と申します。

昨年3月に看護学校を卒業し、社会人としてもまだまだ未熟です。新しい環境に不安や緊張もありますが、1日1日を大切に先輩から教わったことを確実に身につけ、精一杯頑張っていきたいと思っています。

分からない事が多く、ご迷惑をお掛けしますが、ご指導宜しくお願い致します。

南2病棟 看護師
原田 麻由 (採用)

4月から南2病棟に配属になった原田麻由です。南2病棟には神経難病の患者様がいらっしゃいます。中には、思いを言葉で伝えることが難しい方もいらっしゃいます。入職した当初は、文字盤や口の動きが分からずコミュニケーションに戸惑うばかりでした。しかし、先輩方が「ゆっくりでいいよ。」と助言を下さり、今は少しずつですがコミュニケーションもとれるようになってきました。これからも患者様の思いに寄り添っていけるよう、日々頑張りたいと思います。

南2病棟 看護師
森田 隆史 (採用)

4月から南2病棟に配属になりました森田隆史といいます。南2病棟には神経難病の方々が入院されており、言葉による会話が困難な方もいらっしゃいます。そのため看護師としての技術だけでなく、コミュニケーションを上手くとり、患者様との関係性を築くことが大切だと感じています。まだまだ不安だらけですが、先輩方や患者様から多くのことを教わって、今の自分に何ができるのか考えながら頑張っていきたいと思います。

つくし1病棟 看護師
岩本 衣里子 (採用)

今年度からつくし1病棟に配属になりました、岩本衣里子です。熊本再春荘病院には桜の印象が強いです。就職前説明会の際にちょうど桜も見頃を迎えており、とても綺麗だなと思って見ていました。4月から緊張もしながら看護師として働き始め、毎日患者さんや病棟の先輩方からたくさんの事を教えていただき、学ばせていただくことができています。これからも専門職である看護師として、患者さんの為にも自分の為にも学び続け、熊本再春荘病院看護部の理念に沿った看護が実践できるようにスキルアップをしていきたいです。

つくし1病棟 看護師
須崎 英里佳 (採用)

4月からつくし1病棟に配属されました須崎英里佳と申します。私は初めて地元の鹿児島県を出て熊本再春荘病院に就職しましたが、先輩方は右も左もわからない私に多くのことを指導して下さったり声をかけて下さりとても心強いです。重症心身障害者病棟に配属され日々わからないことだらけで学ぶことが多いですが、毎日患者さんの笑顔を見て励まされています。これから多くのことを学び、常に患者さんの気持ちを考え看護を提供できる看護師になれるよう頑張りますのでよろしくお願いいたします。

つくし2病棟 看護師
田中 久美 (採用)

初めまして、4月よりつくし2病棟に配属になりました田中です。まだまだわからないことだらけですが、1日でもはやく慣れたいとおもいます。患者さんの思いを読み取り、寄り添える看護を行えるようがんばっていきます。これからよろしくお願いします。

つくし2病棟 療養介助専門員
坂田 祐輝 (採用)

今年度から、採用されました坂田祐輝です。私は、大学卒業後、介護施設で10年程介護の仕事に携わってきました。介護の仕事は、大変なこともありましたが、それ以上に患者様に寄り添い、ともに日々を過ごすことで患者様が笑顔になり、生き活きと生活をされている姿を見て、大変やりがいを感じる事ができました。これから、熊本再春荘病院の一員として、仕事に誠実に向き合っていき、笑顔を絶やすことなく、地域に根ざした医療を支えていきたいと思っています。

■ 看護部 (異動)

看護部 副看護部長
井上 光子 (異動)

熊本医療センターから配置換えで参りました副看護部長の井上光子と申します。赴任してまず感じたのが、病院敷地内外に緑がとても多く、鳥の声が聞こえ、時折聞こえる電車の音、自然に恵まれた素晴らしい環境の中、癒しと懐かしさを感じました。また、来年には新病棟が完成し、当院に求められるもの、期待されるものは一層高くなるのではと感じています。今まで以上に地域の皆様に貢献できるよう、頑張っていきたいと思っておりますのでどうぞよろしくお願い致します。

東1病棟 看護師長
釜崎 美和 (異動)

宮崎東病院から配置換えで参りました東1病棟の釜崎美和と申します。4月、沢山の桜と温かく優しい皆様を迎え入れて頂き、不安な気持ちが一気に吹き飛びました。地元は熊本で初めての電車通勤をまったり楽しんでいます。心地良すぎて御代志駅まで乗り過ごした事もあります。新棟建て替え移転は2度目ですので、少しでもお役に立てるよう頑張りたいと思います。慣れるまではご迷惑をおかけすると思いますが、どうぞ宜しくお願い致します。

西4病棟 看護師長
積山 佳史 (異動)

熊本医療センターより看護師長昇任で参りました積山佳史と申します。熊本再春荘病院を初めて訪れたのは3月末で、桜が満開の季節でした。満開の桜が、緊張していた気持ちを幾分か和らげてくれたのを覚えています。これから一步一步学びを深め、看護師長として成長し、患者様・ご家族のみならず、スタッフにも満足してもらえる病棟運営をして行きたいと思っています。皆さんにはご迷惑をかけることも多いでしょうが、これからよろしくお願いいたします。

西2病棟 看護師
藤原 清美 (異動)

福岡東医療センターより異動で参りました。元々、熊本県出身なので異動希望が叶い嬉しいです。今回初めて外科整形病棟に配属になり毎日緊張していますが、病棟スタッフの皆さんが優しく丁寧に教えて下さり、本当に感謝しています。また院内歓迎会で話した、他部署の方も「慣れた？」と廊下で声をかけてくださり、熊本再春荘病院全体の雰囲気がとてもいいなと感じました。今後、患者さまの力になれるよう笑顔で頑張ります。

■ 療育指導室 (採用)

療育指導室 保育士
丸山 悠那 (採用)

4月に保育士として採用になりました、丸山悠那です。実家の福岡を離れ、熊本で初めての一人暮らしとなりました。趣味は旅行で、早く阿蘇や天草に行きたいのですが、お恥ずかしながらまだ車の免許を持っていないので早く免許を取って行きたいです。

保育士と言っても子供を預かる保育園とは違い、重症心身障がい児・者の患者さんの支援を行っています。不慣れなことが多いですが、日々先輩方に教わりながら仕事に励んでいます。未熟者ではありますが、よろしくお願い致します。

■ 療育指導室 (異動)

療育指導室 保育士
高橋 由美 (異動)

長崎病院より転勤で参りました保育士の高橋と申します。地元は大分、「湯の街別府」です。今までは、重症心身障害児者病棟を担当していましたが、熊本再春荘病院では小児科病棟を担当させて頂くことになりました。初めてのことで戸惑いもありますが、いろんな方々に助けて頂きながら、頑張りたいと思います。ご指導のほどよろしくお願い致します。

■ 事務 (異動)

企画課 企画課長
橋本 和明 (異動)

企画課長として参りました橋本と申します。よろしくお願いいたします。

3年前まで恵楓園で勤務していましたので、熊本再春荘病院に異動とわかった時は、勤務していた訳ではありませんが、また戻るのかという懐かしい感じでした。

さて、当院は現在、2期工事の外来治療棟、病棟の新築工事の真っ最中で、これから来年に向けて工事自体もですが、備品の購入や引越と、皆様のご協力を得ながら計画的に進めて参りたいと思いますので、ご協力をお願いいたします。

企画課 専門職
中谷 恭子 (異動)

4月1日付で佐賀病院より参りました専門職の中谷恭子と申します。採用は向かいの菊池恵楓園で、その後肥前精神医療センター、佐賀病院で勤務し、こちらが4施設目になります。医事に関する業務は初めてなので不安いっぱいですが、いつも皆様に温かい言葉を掛けていただき、元気をもらいながら日々過ごしています。一日も早く慣れるよう頑張りますので、御迷惑をお掛けしますが、どうぞよろしくお願いいたします。

企画課 契約係長
佐伯 美佳 (異動)

鹿児島島の南九州病院から参りました契約係長の佐伯と申します。大好きな鹿児島(火山灰は除く)を後にして、初めての熊本に参りましたが、赴任して一ヶ月もたたないうちに半年いる気分になってしまうほど温かく迎えて頂いたこと、とても感謝しています。契約係が全員女性というのは珍しいことですが、一致団結して頑張っていこうと思いますので、よろしくお願いいたします。

■ 事務 (採用)

統括診療部 事務助手 **清水 恵** (採用)

4月に入職しました清水と申します。

前職は養護老人ホームや行政で8年間勤務をしていました。病院勤務は2か所目で、ドクタークラークは未経験です。子供が小さい時、度々の入院でこちらの小児科にお世話になりました。親切に対応していただき不安な気持ちが薄れた事を覚えています。そのような病院で働ける機会を与えていただき大変嬉しく思っています。

診察が円滑に進みますよう、微力ながらお手伝いさせていただきます。宜しくお願いします。

再春荘カンファレンス予定表（担当科および症例検討会内容）

第3水曜日
19時から

H 30 年

7月	リウマチ科 / 麻酔科	11月	神経内科 / 小児科
9月	菊池救急医療研修会	12月	菊池救急医療研修会
10月	呼吸器内科 / 外科		

H 31 年

1月	代謝内科 / 整形外科
2月	呼吸器内科 / 放射線科
3月	神経内科 / 小児科

再春荘カンファレンスは院内外の医師・医療関係者による勉強会です。最新の医学情報の提供や意見交換、医療連携のより良い構築を主旨に、症例検討会など毎月（第3水曜日・19時から）病院2階会議室において実施しています。皆様の御出席をお待ちしております。

